

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	農地等保全の地すべり対策	事業番号、事業名	1 地すべり対策			補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	あなん 阿南  (阿南町)	アンカー工N=345本 杭打工N=42本 横孔ボーリング工 L=1,583m 承排水路工L=1,700m 法枠工L=1,312㎡等 (工期:H19~H24)	アンカー工N=8本 杭打工N=16本	法枠工A=200㎡	アンカー工(ロックボルト) N=186本 法枠工A=414㎡ 横孔ボーリング工 L=788m 承排水路工L=1,155m 等	必要性 A	85.3%	平成22年度7月梅雨前線豪雨時に動きが活発化したブロック等の対策工事を完了し、引き続き法枠工等を施工する。	平成22年度の7月梅雨前線豪雨で急遽活発化したブロック等への対策のためアンカー工及び法枠工を増工した一方、観測調査結果により変状の鎮静化が見られたブロックについて、杭打工や集水井工を減工した。今年度も引き続き緊急性の高いブロックから対策を実施する。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		2億4110万円	3060万円	2000万円	3550万円	重要性 A	特記事項 H22変更 事業量:法枠工A=400㎡増、杭打工N=43本減、等				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=23.34				
						緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				
2	いいだりょうさい 飯田電西  (飯田市)	アンカー工N=10本 横孔ボーリング工 L=925m 承排水路工L=1,383m 土止工L=560m 法枠工A=1,165㎡等 (工期:H21~H25)	承排水路工L=100m 法枠工A=600㎡	横孔ボーリング工 L=110m 土止工L=65m 法枠工A=200㎡	アンカー工N=10本 横孔ボーリング工 L=675m 承排水路工L=1,213m 土止工L=330m 法枠工A=405㎡等	必要性 A	32.4%	計画どおり進んでいる。順次緊急性の高い箇所から横孔ボーリング工や土止工等を施工する。	「家屋裏の急斜面が不安定化している箇所が多くみられ、地すべり被害拡大防止のため、早急な対策が必要である。人家への危険があるブロックなど順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。」	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
		1億7000万円	2500万円	2000万円	1億1500万円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=13.66				
						緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				
3	みなみむら 南村  (大町市)	集水井N=2基 横孔ボーリング工 L=3,250m 杭打工N=20本 排水路工L=1,300m 土止工L=100m等 (工期:H21~H25)	横孔ボーリング工 L=1,290m	横孔ボーリング工 L=1,000m 排水路工L=330m	集水井N=2基 横孔ボーリング工 L=1,960m 杭打工N=20本 土止工L=100m 排水路工L=1,232m 等	必要性 A	29.5%	計画どおり進んでいる。順次緊急性の高い箇所から横孔ボーリング工や排水路工等を施工する。	地区の上部ブロックでクラック等の変状が発生し、南村沢川閉塞による人家や農地への被害が危惧されており、地すべり被害拡大防止のため早急な対策が必要である。追加指定を行った緊急性の高いブロックから順次対策を実施する。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		2億円	3900万円	3200万円	1億4100万円	重要性 A	特記事項 特になし				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.57				
						緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				
4	せはらだ 瀬原田  (長野市)	杭打工 N=37本 横孔ボーリング工 L=2,683m 排水路工 L=474m 土止工 L=270m (工期:H18~H24)	土止工 L=7m	横孔ボーリング工 L=261m 土止工 L=57m 排水路工 L=73m	横孔ボーリング工 L=200m 土止工 L=145m 排水路工 L=101m	必要性 A	83.8%	平成22年度に新たに発生した地すべりへの対策として、横孔ボーリング工や土止工を施工する。	平成22年7月発生豪雨により犬石工区で新たに発生した地すべりへの対策が必要となっており、工期を2ヵ年延長すると共に平成23年度は横孔ボーリング工等の整備を実施し被害の防止を図る。	新たな地すべりに対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」
		1億7900万円	100万円	2000万円	2900万円	重要性 A	特記事項 H23変更 平成22年7月豪雨により新たに発生した地すべり対応 ・横孔ボーリング工 L=200m増工、土止工 L=185m増工 ・事業費:2,900万円増額 工期:2ヵ年延長				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=10.97				
						緊急性 A	住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に関する調整や施設の維持管理が行われている。				

分野	農地等保全の地すべり対策	事業番号、事業名	1 地すべり対策				補助・単独別	補助	農政部 農地整備課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
5	まっぼ 松葉  (長野市)	横孔ボーリング工 L=740m 排水路工L=331m 法面保護工A=2,000 m <sup>2</sup> アンカー工N=56本 等 (工期:H21~H25)	アンカー工 N=14本	アンカー工 N=9本	横孔ボーリング工 L=740m 排水路工L=270m 法面保護工A=400m <sup>2</sup> アンカー工N=42本 等	必要性 A	47.8 %	計画どおり進んでいる。 舞台沢集落上部斜面への対策が完了し、順次緊急性の高い箇所からアンカー工を施工する。	家屋周辺部で発生している地すべり等の順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
					重要性 B	特記事項 特になし						
		1億8400万円	200万円	1800万円	9600万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=4.97
						緊急性 A						住民参加状況等 地すべり対策委員会により工事に 関する調整や施設の維持管理が 行われている。
6	あしくぼ 梨久保  (中野市)	排水路工L=3,711m 横孔ボーリング工 L=3,400m 集水井工N=2基 アンカー工N=109本 土止工L=120m 等 (工期:H20~H25)	横孔ボーリング工 L=1,020m 排水路工L=230m 床固工N=5基 アンカー工N=39本 法面補強工A=320m <sup>2</sup>	排水路工L=660m	排水路工L=3,321m 横孔ボーリング工 L=1,780m 集水井工N=2基 アンカー工N=30本 土止工L=50m 等	必要性 A	55.2 %	平成22年7月豪雨災害地すべり箇所を中心に、排水路工などの対策を実施する。	平成22年7月梅雨前線豪雨により人家周辺で地すべりが発生し、人家等へ甚大な被害を及ぼす恐れがあることから早急な対策が必要であり、本箇所を中心とした緊急性の高い箇所から対策を実施する。	新たな地すべりに対する追加対策の必要性が認められる。	「拡大」	
					重要性 A	特記事項 H22変更 平成22年7月豪雨災害で発生した人家回りへの地すべり対応 事業量:アンカー工N=54本増、法枠工A=170m <sup>2</sup> 増 等 事業費:9400万円増 工期:1年延長						
		3億6400万円	1億1400万円	2000万円	1億6300万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=3.75
						緊急性 A						住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。
7	かみぞかい 上境  (飯山市)	排水路工L=2,140m 横孔ボーリング工 L=2,410m 土止工L=220m 集水井工N=2基 等 (工期:H21~H25)	横孔ボーリング工 L=440m 排水路工L=480m	法枠工A=900m <sup>2</sup>	排水路工L=1,339m 横孔ボーリング工 L=1,970m 土止工L=220m 集水井工N=2基 法枠工A=900m <sup>2</sup> 等	必要性 A	21.5 %	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から法枠工等を施工する。	市道や農地を含む地すべりブロックの活動が確認されており、地すべり被害拡大防止のため早急な対策が必要である。 順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 特になし						
		2億円	2500万円	3200万円	1億5700万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=6.61
						緊急性 A						住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。
8	おおばた 大畑  (泰阜村)	排水路工L=485m 横孔ボーリング工 L=1,960m アンカー工N=44本 土止工L=60m 法枠工A=1,453m <sup>2</sup> 等 (工期:H22~H26)	土止工L=40m	法枠工A=600m <sup>2</sup>	排水路工L=485m 横孔ボーリング工 L=1,960m 土止工L=20m 法枠工A=853m <sup>2</sup> 等	必要性 A	13.6 %	計画どおり進んでいる。 順次緊急性の高い箇所から法枠工等を施工する。	人家や農地や県道・村道を含む地すべりブロックの活動が確認されており、地すべり被害拡大防止のため早急な対策が必要である。 順次緊急性の高い箇所から対策を実施する。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 特になし						
		1億6200万円	2200万円	3440万円	1億4000万円	効率性 A						B/C(費用対効果)=2.55
						緊急性 A						住民参加状況等 地すべり対策委員会により、工事・調査に関する調整や施設の 点検・維持管理が行われている。

分野	農地等保全の地すべり対策		事業番号、事業名	1 地すべり対策		補助・単独別	補助		農政部 農地整備課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
9	ながいわ 長岩  (長野市)	排水路工L=270m 横孔ボーリング工 L=600m 土止工L=154m 法面工A=730㎡ 杭打工N=30本 等 (工期:H22~H26)	調査設計 一式 実施計画作成 一式	排水路工L=80m 土止工L=30m	排水路工L=270m 横孔ボーリング工 L=600m 土止工L=154m 法面工A=730㎡ 杭打工N=30本 等	必要性	5.3%	計画どおり進んでいる。 最緊急箇所である集落上部の地すべり対策として、排水路工や土止工を施工する。	地域の生活道路として重要な市道を含む地すべりブロックの活動が確認されており、地すべりが拡大すれば、農地や人家への被害も懸念されるため、早急な対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性						特記事項
						効率性						特になし
						緊急性						B/C(費用対効果)=1.96
合計	9箇所	18億7010万円	2億6760万円	2億4240万円	10億3750万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満					